

第 36 回学術講演会学会発表奨励賞選考結果

日本コミュニケーション障害学会では、学術講演会で発表された演題の中から今後の発展性が期待できる優れた演題を選考し、学会発表奨励賞を授与しております。2010 年度、第 36 回学術講演会学会発表奨励賞の選考結果につきましては以下の 2 名の方々に決まりました（敬称略，所属は発表時のもの）。受賞者には、来年の第 37 回学術講演会において学会より各 5 万円が贈呈されます。

- ・ 新城恵梨・坊岡峰子（県立広島大学保健福祉学部コミュニケーション障害学科）
「会話相手のコミュニケーションスキルが認知症高齢者との会話に及ぼす影響」
- ・ 長並真美（上智大学言語聴覚研究コース），原恵子・進藤美津子（上智大学）
「健常児の初期音韻発達とダウン症児の音韻意識について」